

第04-090号
2004年7月30日

平成17年3月期 第1四半期決算について

ANAは、本日7月30日(金)、平成17年3月期 第1四半期(2004年4月1日～2004年6月30日)連結業績の概況を取りまとめました。

なお、詳細につきましては、別添の「第1四半期財務・業績の概況(連結)」をご参照ください。

<<ANA グループ連結業績>>

(単位:億円)

*億円未満切捨て

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
a) 平成16年3月期 第1四半期	2,596	△286	△273	△183
b) 平成17年3月期 第1四半期	2,972	88	58	24
b-a) 差異	375	375	332	207

以上



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結) 平成16年7月30日

上場会社名 全日本空輸株式会社

コード番号 9202

(URL <http://www.ana.co.jp>)

上場取引所 東大

本社所在都道府県 東京都

代表表 者 役職名 代表取締役社長

氏名 大橋 洋治

問合せ先責任者 役職名 総務部長

氏名 相馬 一孝 TEL (03)6735-1001

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

- 金融商品の減損処理は、原則実施しておりません。
- 税金費用の計上にあたっては、法定実効税率または最近連結会計年度の実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。また、連結納税制度の適用に伴う税金費用の計上にあたり、一部簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

平成16年3月期比 連結(新規) : - 社、(除外) : 4 社 持分法(新規) : - 社、(除外) : - 社

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)百万円未満切捨て

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
17年3月期第1四半期	297,203 (14.5)	8,868 (-)	5,872 (-)	2,425 (-)
16年3月期第1四半期	259,627 -	28,651 -	27,368 -	18,324 -
(参考)16年3月期	1,217,596	34,354	33,443	24,756

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。なお、前年同四半期より四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率
17年3月期第1四半期	1,541,090	148,661	9.6
16年3月期第1四半期	1,436,905	104,941	7.3
(参考)16年3月期	1,565,106	150,086	9.6

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
17年3月期第1四半期	27,390	24,644	42,745	194,617
16年3月期第1四半期	17,176	37,618	16,656	119,992
(参考)16年3月期	89,793	95,882	82,867	234,524

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

連結業績予想の見直しは現時点では行っておりません。

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

経営成績

当第1四半期の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

わが国経済は、企業収益の回復や所得環境の改善などの動きを受けて、個人消費も緩やかに増加するなど、景気回復に向けた着実な足取りを実感できる展開となりました。こうした経営環境のもと、当社グループは増収に努める一方で、前期に引き続きコスト構造改革を推進し、収益の向上に努めました。この結果、連結経営成績は、売上高が2,972億円（前年同期比375億円の増収）、営業利益は88億円（前年同期比375億円の増益）となり、当期純利益は24億円となりました。これらは、いずれも当初想定した範囲内で順調に推移しております。

事業別の業績の概況は以下のとおりです（なお、各事業における売上高はセグメント間内部売上高を含んでおります）。

【航空運送事業】

国内線においては、景気回復に伴う個人需要の持ち直しに加え、ゴールデンウィーク期間の利用状況が好調であったこと、さらに単価が前年同期比で改善したことなどから、売上高は前年同期に比べ96億円の増収となりました。

国際線においては、欧米線が前期に引き続き堅調であることに加え、中国・アジア路線についてもビジネス需要を中心に好調に推移しており、SARS（重症急性呼吸器症候群）等の影響により旅客数が激減した前年同期に対して旅客数は67%増加しました。とりわけ欧米線については利用率が高水準で推移し、大きく増収に寄与することとなりました。結果、売上高は前年同期に比べ178億円の増収となりました。

貨物事業は、活発な荷動きを受けて輸送量の好調な伸びが持続し、内際とも増収となりました。また、他航空会社の整備受託や地上業務支援などの附帯収入も増加しました。

これらの結果、航空運送事業の売上高は前年同期に比べ349億円の大幅な増収となりました。

一方、前期に引き続き「コスト削減計画」に掲げた各施策を実行することにより、低需要期においても利益の確保を可能とするコスト体質への転換を図っており、当第1四半期につきましても原油市況高騰による燃油費への影響等があったものの、営業費用を前年同期並みにとどめたことから、営業損益は80億円の黒字に転換しました。

【旅行事業】

SARS等の影響で落ち込んでいた海外旅行需要の回復、ならびに堅調な国内旅行需要のもとで積極的な販売活動を行った結果、売上高は前年同期に比べ84億円の増収となり、営業利益1億円を確保し、増収増益となりました。

【ホテル事業】

海外・国内共に旺盛な旅行需要に支えられ、成田全日空ホテルや沖縄地区のホテルの実績は好調に推移しました。しかしながら、その他の都市型ホテルを中心とした宿泊・宴会部門の売上回復の足取りは重く、売上高は前年同期に比べ7億円の増収となったものの、営業損失を5億円計上することとなりました。

【その他の事業】

その他の事業も概ね好調に推移し、前期においてSARSの影響を被った一部の子会社も回復し、売上高は前年同期に比べ33億円の増収となり、営業利益10億円となりました。

財政状態

当第1四半期のフリー・キャッシュ・フローは27億円のプラスとなりました。これは、営業キャッシュ・フローが273億円のプラスとなる一方、航空機購入代金の前払いや新規所有のB777-200型機（1機）の支払いなどの支出により投資キャッシュ・フローが246億円のマイナスとなつたことによります。一方、財務活動において、普通社債の償還（200億円）や借入金の返済を行った結果、手元資金は当期首より399億円減少し、当期末残高は1,946億円となりました。

これらの結果、平成16年3月期の連結貸借対照表と比較すると、流動資産の減少（主に現預金）および固定資産の増加（航空機）により、総資産は240億円減少、有利子負債（借入金及び社債）は378億円減少、株主資本は14億円減少し、株主資本比率は9.6%となっています。

(1) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成16年度 第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	平成15年度 第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	増 減
. 営業収入	297,203	259,627	37,576
. 事業費	230,124	234,220	4,096
. 販売費及び一般管理費	58,211	54,058	4,153
営 業 利 益	8,868	28,651	37,519
. 営業外収益	4,547	10,777	6,230
1. 受取利息	167	132	35
2. その他	4,380	10,645	6,265
. 営業外費用	7,543	9,494	1,951
1. 支払利息	4,556	5,103	547
2. その他	2,987	4,391	1,404
経 常 利 益	5,872	27,368	33,240
. 特別利益	354	8	346
1. 投資有価証券売却益	301	-	301
2. その他	53	8	45
. 特別損失	1,028	863	165
1. 固定資産売却損	523	240	283
2. 固定資産除却損	99	25	74
3. 特別退職金	382	-	382
4. その他	24	598	574
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	5,198	28,223	33,421
税金費用	2,761	9,917	12,678
少数株主損益	12	18	6
当 期 純 利 益	2,425	18,324	20,749

(2) 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成16年度 第1四半期 平成16年6月30日	平成15年度 平成16年3月31日	増 減
【資産の部】			
流動資産	430,764	463,392	32,628
現預金及び有価証券	195,405	235,313	39,908
営業未収入金	104,176	101,799	2,377
たな卸資産	56,741	52,765	3,976
その他	74,442	73,515	927
固定資産	1,109,539	1,100,848	8,691
有形固定資産	879,760	871,460	8,300
無形固定資産	38,618	40,342	1,724
投資その他の資産	191,161	189,046	2,115
繰延資産	787	866	79
資 产 合 计	1,541,090	1,565,106	24,016
【負債の部】			
流動負債	435,064	441,657	6,593
支払手形及び営業未払金	123,242	123,922	680
短期借入金、一年以内に償還する社債 及び一年以内に返済する長期借入金	184,701	206,557	21,856
その他	127,121	111,178	15,943
固定負債	948,439	964,453	16,014
社債及び長期借入金	809,136	825,156	16,020
退職給付引当金	107,532	105,389	2,143
その他	31,771	33,908	2,137
負 債 合 计	1,383,503	1,406,110	22,607
少 数 株 主 持 分	8,926	8,910	16
【資本の部】			
資本金	86,767	86,767	-
資本剰余金	53,117	53,114	3
利益剰余金	6,675	8,882	2,207
その他有価証券評価差額金	4,899	4,040	859
為替換算調整勘定	1,991	1,927	64
自己株式	806	790	16
資 本 合 计	148,661	150,086	1,425
負債、少数株主持分及び資本合計	1,541,090	1,565,106	24,016

(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	平成16年度 第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	平成15年度 第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日
. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は純損失()	5,198	28,223
減価償却費	15,689	15,675
その他	6,503	4,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,390	17,176
. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	37,264	58,661
有形固定資産売却による収入	15,367	24,052
無形固定資産取得による支出	1,407	1,655
その他	1,340	1,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,644	37,618
. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減(減少:)	7,028	9,315
長期借入による収入	10,116	1,900
長期借入返済による支出	20,803	22,895
社債発行による収入	-	29,823
社債償還による支出	20,000	-
配当金の支払額	4,616	-
その他	414	1,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,745	16,656
. 現金及び現金同等物の換算差額	104	9
. 現金及び現金同等物の増減額(減少:)	39,895	38,129
. 現金及び現金同等物の期首残高	234,524	158,121
. 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額	12	-
. 現金及び現金同等物の期末残高	194,617	119,992

(4) セグメント情報

平成16年度第1四半期(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(単位：百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	222,560	35,800	13,497	25,346	297,203	-	297,203
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,536	4,123	3,238	18,656	48,553	(48,553)	-
計	245,096	39,923	16,735	44,002	345,756	(48,553)	297,203
営業費用	237,080	39,794	17,277	42,927	337,078	(48,743)	288,335
営業利益	8,016	129	542	1,075	8,678	190	8,868

平成15年度第1四半期(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(単位：百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	193,747	27,834	13,008	25,038	259,627	-	259,627
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,441	3,634	2,950	15,584	38,609	(38,609)	-
計	210,188	31,468	15,958	40,622	298,236	(38,609)	259,627
営業費用	238,161	32,151	16,615	40,311	327,238	(38,960)	288,278
営業利益	27,973	683	657	311	29,002	351	28,651

(5) 航空運送事業の売上高の内訳及び輸送実績

【売上高の内訳】

(単位：百万円)

区分	事業年度	平成16年度 第1四半期	平成15年度 第1四半期	増減
		自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日	自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日	
航空運送事業	旅 客 収 入	149,232	139,541	9,691
	貨 物 収 入	6,715	6,100	615
	郵 便 収 入	1,845	2,166	321
	手 荷 物 収 入	51	66	15
	小 計	157,843	147,873	9,970
	旅 客 収 入	50,028	32,173	17,855
	貨 物 収 入	11,079	10,479	600
	郵 便 収 入	679	775	96
	手 荷 物 収 入	132	144	12
小 計		61,918	43,571	18,347
航空事業収入合計		219,761	191,444	28,317
その他の収入		25,335	18,744	6,591
合 計		245,096	210,188	34,908

(注) 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

【輸送実績】

区分	事業年度	平成16年度 第1四半期	平成15年度 第1四半期	前年同期比 (%)
		自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日	自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日	
国内線	旅 客 数(人)	10,580,494	10,323,319	102.5
	座 席 キ 口(千席キロ)	15,105,917	15,849,094	95.3
	旅 客 キ 口(千人キロ)	9,059,181	8,844,591	102.4
	利 用 率(%)	60.0	55.8	4.2
	貨 物 輸 送 重 量(トン)	98,814	95,744	103.2
	貨 物 輸 送 量(千トンキロ)	96,200	92,892	103.6
	郵 便 輸 送 重 量(トン)	18,130	15,987	113.4
	郵 便 輸 送 量(千トンキロ)	19,341	17,369	111.4
国際線	旅 客 数(人)	949,546	566,535	167.6
	座 席 キ 口(千席キロ)	6,233,601	5,935,097	105.0
	旅 客 キ 口(千人キロ)	4,639,757	3,245,743	142.9
	利 用 率(%)	74.4	54.7	19.7
	貨 物 輸 送 重 量(トン)	57,116	52,975	107.8
	貨 物 輸 送 量(千トンキロ)	266,547	256,237	104.0
	郵 便 輸 送 重 量(トン)	3,360	3,048	110.2
	郵 便 輸 送 量(千トンキロ)	14,939	14,393	103.8

(注) 1. 国内線 = 全日本空輸(株) + エアーニッポン(株) + エアー北海道(株) + (株)エアーニッポンネットワーク

2. 国際線 = 全日本空輸(株) + エアーニッポン(株) + (株)エアージャパン

3. 国内線、国際線ともにチャーター便を除いております。

4. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。